



今日のトピック **メキシコ中銀が連続で0.75%の利上げ**
米FRBに追随、インフレ高止まりを警戒

ポイント1 政策金利は8.5%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は8月11日に金融政策決定会合を開き、政策金利を7.75%から8.5%に引き上げました。
- 中銀による利上げは10会合連続、0.75%の利上げは今回で2会合連続となりました。高水準のインフレや、米連邦準備制度理事会（FRB）の動向を踏まえ、ほぼ予想通りの政策決定となりました。

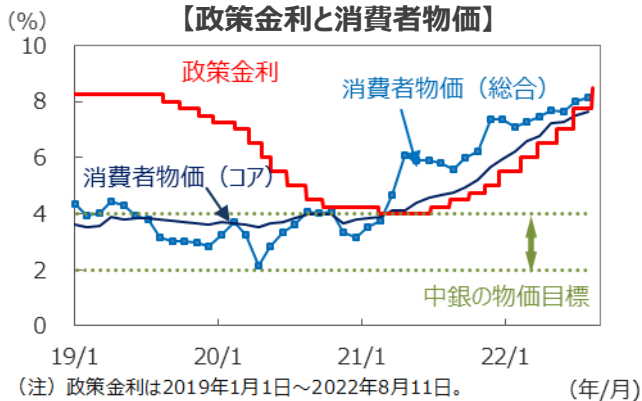
ポイント2 インフレ高止まりでタカ派姿勢を継続

- 7月のメキシコの消費者物価指数は前年同月比で8.15%の上昇となり、6月の7.99%から加速するとともに、引き続き中銀の目標値（上限4%）を大きく上回っています。
- 高水準のインフレや米FRBの金融引き締め継続から、弊社では9月の会合でも0.75%の利上げが実施され、政策金利は9.25%まで引き上げられるものと予想しています。

今後の展開 好調な経済と利上げ継続でペソは堅調持続か

- メキシコペソは6月に米長期金利が急騰した局面では小幅に弱含む場面も見られましたが、その後は米景気への警戒感の高まりや米長期金利の低下傾向もあり、足元ではペソのじり高推移が続いています。
- 米国の景気後退が取りざたされる一方で、メキシコ経済は好調を持続しています。2022年4-6月の実質GDP成長率は前期比年率2.1%のプラスとなり、市場予想を上回りました。堅調な景気拡大と積極的な利上げ姿勢を受けて、ペソは今後も1米ドル = 20ペソを中心とした堅調推移が続くものと予想しています。

【政策金利と消費者物価】



【メキシコペソ】 (円/メキシコペソ) (メキシコペソ/米ドル)



ここも
チェック!

2022年6月24日 **メキシコ中銀が0.75%の利上げ**
2022年5月16日 **メキシコ中銀が4会合連続で0.5%の利上げ**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。